

保健室より

新しい環境、新しい生活になり1か月が経過しました。少しずつ新しい環境に慣れつつあります。それと共に疲れが出てくる時期でもあります。この時期は不安や緊張で心身ともに疲れやすく、熱を出す人・食欲が落ちる人や寝つきが悪くなる人など症状はさまざまです。

病後児保育ってどんなところ？

子どもが感染症などの病気にかかり、保育園に行くことが出来ずお仕事も休めない時に子どもに無理をさせることなく、保護者に代わり保育士や看護師が子どもの状態に合わせた看護をおこなう場所が病児・病後児保育室です。

病児保育

子どもが病氣中で状態が安定している状態

病後児保育

子どもの病氣が治ってきている状態

どちらも、病院・診療所・保育所に併設された専用スペースで保育を行います。



訪問型病後児保育

子どもの病氣が治ってきている状態で自宅に訪問して保育を行います。



地域の病児・病後児保育については実施施設での事前登録が必要になります。病児保育についてのパンフレットは園の図書コーナーの横に置いてあります。ご自由にお取りください。

乳幼児突然死症候群（SIDS）

元気だった子どもが何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が死に至る原因のわからない病気で窒息などの事故とは異なります。入園時・進級時は新しい環境になるため心身の負担が多く発症のリスクが高まります。

SIDS から子どもを守るポイント

保育園での対策

- ・0歳～1歳児は5分ごとに、2歳児は10分ごとに呼吸と確認・うつぶせ寝を予防
- ・スタイは必ず外し、顔周囲に外したスタイやタオル、玩具などを置かない。
- ・布団やタオルケットが、顔や口にかからないようにする。
- ・衣類調整、室内温度・湿度などの環境を整える。

家庭での対策

- ・うつぶせ寝は避けましょう。
- ・睡眠中は呼吸を妨げないようにしましょう。
- ・乳幼児の前での喫煙は避けましょう。

